

各自が自己記録の更新にチャレンジ!

## 小学校陸上記録交歓会が開催

9月26日、「第49回只見町小学校陸上記録交歓会」が町下運動広場で開催され、町内3小学校の5・6年生約60人が参加しました。大会には保護者や地域の皆さんなど多くの方が応援に訪れ、児童たちは、自己記録の更新などを目標に、全力で各競技に取り組んでいました。

また、今年度は男子80Mハードルで朝日小学校6年の渡部琉生くんが新記録を出した他、ソフトボール投げに変わり、新たにジャベリックボール投げが取り入れられました。



▲今大会唯一の新記録となった渡部琉生くん(右)の男子80Mハードル



▲成功のたびに大きな歓声が上がった女子走り高跳び



▲大会のラストを飾った4×100m男子リレー

## 第49回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表 (3位まで) ※敬称略

種目	1000m(男子) 800m(女子)	100m	80mハードル	4×100mリレー	走り幅跳び	走り高跳び	ジャベリックボール投げ
男子	1 酒井 湧司 (明・6) 3分40秒8	横山 敬都 (明・6) 14秒2	渡部 琉生 (朝・6) 14秒1(大会新)	明和A 1分01秒2	渡部 琉生 (朝・6) 400cm	酒井 湧司 (明・6) 116cm	印南 奏詩 (明・6) 37m49cm(大会記録)
	2 青山 成希 (只・6) 3分46秒5	菊地 桐伍 (明・6) 16秒3	増田 司 (朝・6) 14秒6	朝日A 1分02秒0	横山 敬都 (明・6) 381cm	増田 司 (朝・6) 110cm	矢沢 亮太 (只・6) 37m43cm
	3 菅家 岳人 (朝・6) 3分52秒2	本名 大成 (朝・5) 16秒8	大竹 蓮斗 (明・6) 15秒5	朝日B 1分08秒5	青山 成希 (只・6) 331cm	渡部 巧人 (朝・5) 100cm	吉津 就 (朝・6) 35m20cm
女子	1 齋藤 有紗 (朝・6) 3分02秒2	新國 優月 (只・5) 14秒9	松永 紗弥 (只・5) 16秒0	朝日A 1分05秒6	矢沢 実優 (明・6) 346cm	酒井 麗 (只・6) 114cm	新國 夢萌 (只・6) 32m99cm(大会記録)
	2 齋藤 楓 (只・5) 3分06秒2	吉津 知巴 (朝・6) 15秒2	酒井 麗 (只・6) 16秒3	只見A 1分05秒8	吉津 知巴 (朝・6) 327cm	松永 紗弥 (只・5) 109cm	渡部 仁奈 (朝・5) 26m18cm
	3 大東 咲来 (明・6) 3分06秒4	矢沢 実優 (明・6) 15秒9	橋川 小絢 (明・6) 17秒1	明和A 1分09秒0	星 まお (朝・6) 311cm	新國 優月 (只・5) 109cm	大東 咲来 (明・6) 23m43cm

※氏名(学校名・学年)。只/只見小学校、朝/朝日小学校、明/明和小学校の略。

## 春の手植え体験に続き…

### KARIYASU'19「100人手刈り」開催!

9月28日、今年5月に開催されたKARIYASU'19「100人手植え」時に植えた稲を参加者全員で手刈りし、はぜかけ作業を行う上記「手刈り」イベントが行われました。このイベントは、地元農家を中心に、春に手植え・秋に手刈り体験を実施するものとして例年開催されており、県外からの参加者も多く、毎回盛り上がりを見せています。(会場：湯ら里前の田んぼ)

当日は、参加した皆さんが作業を楽しむとともに、「18歳の酒 Project」<sup>プロジェクト</sup>として南会津高校の生徒も参加し、一生懸命稲刈りを行っていました。

※「18歳の酒 Project (プロジェクト)」は、高校生が田植えから収穫、酒造りまでを体験し、完成した酒を成人した時に受け取るものです。



▲全員で協力して作業を行った



▲参加者全員(約70人)で記念撮影!



▲ガイドの案内で河井記念館を見学

## 河井継之助の足跡をたどる

### 「継之助ウォーク」に多くの方が参加

9月29日、長岡藩家老・河井継之助の足跡をたどる「継之助ウォーク」が開催され、町内20人、長岡市・会津若松市から50人の計70人が参加しました。当日は、継之助が当時歩いたとされる町内約6キロの行程を地元ガイドと一緒に歩き、河井記念館や叶津番所などを見学しました。ウォーキング後には、今年6月に戊辰セミナーの講師を務めた飯塚恒夫さん(継之助ウォーク実行委員長)が歴史講話を行い、戊辰戦争を中心とした本町歴史資源を多くの方々に紹介する良い機会となりました。



▲ブナりんも加わり参加者全員で記念撮影

## 野村総研グループ社員の皆さんが

### 森林整備ボランティア活動を実施

10月4日、「ただみ豪雪林業体験・観察の森」(以下、体験の森)整備事業の目的に賛同し、資金協力をいただいている野村総合研究所グループ社員30人が同地でボランティア活動を行いました。

この体験の森(黒谷)は、豪雪地に適応した森林管理技術の開発や森林レクリエーション、環境教育などを実践するモデル地となっています。

今回は、町関係者とともに、昨年度に除間伐されたスギ材を新材にする作業を実施し、社員の皆さんに豪雪地における人工林の実態や林業作業について体感していただきました。



▲新材作りの様子



各地のグルメに楽しいイベントも！

## 「水の郷うまいもんまつり」が開催

10月5～6日、毎年恒例の「水の郷うまいもんまつり」がJR只見駅前広場で開催され、町内外から多くの方が来場しました。

イベント名になっているように、会場には会津エリアの事業者に加え、郡山市や三条市、新潟市などから計20以上の団体が出店してご当地グルメ等を販売し、来場した皆さんが各地の味に舌鼓を打っていました。今年も田子倉ダム見学ツアーやいわなつかみ、スペシャル歌謡ショー（島津悦子、奥山えいじ）など人気の企画がたくさん行われ、会場を大いに盛り上げました。



▲多くの屋台が並ぶ会場は、終始多くの来場者で賑わった



▲場外乱闘的一幕もあった新潟プロレスショー

雨天により急遽、只見振興センターでの開催となった「新潟プロレスショー」も賑わいを見せ、皆さんが声援を送る姿が印象的でした。ショーにはJR只見線全線復旧を応援する想いも込められており、只見線応援キャラクターの「キハちゃん」も駆け付けました。

また、今年は町制施行60周年を記念し、1日目のクライマックスを飾る花火大会が、例年より規模を拡大して開催され、美しい花火が会場や秋の夜空に彩りを加えました。

白熱の腕相撲対決などを通じ

## 新潟プロレスのレスラーと只見小児童が交流

10月4日、新潟プロレスのレスラー4人（シマ重野代表兼選手、他3選手）が只見小学校を訪問し、児童たち（1～6年生）と交流を深めました。入場曲に合わせて登場したレスラーの皆さんは、挨拶代わりに児童一人一人と腕相撲対決を行い、自慢の腕力を披露しました。校内には大きな声援がこぼれ、数人がかりで挑戦する児童の姿も見られました。

対決の後には、レスラーの皆さんが「自分たちはどんな小学生だったか」「夢を持つことの大切さ」などを話し、児童は真剣に耳を傾けていました。



▲みんなで腕相撲対決！



▲積極的に質問をする児童たち



# 町の話

皆さまからの身近な情報をお待ちしています。ご意見ご要望もお気軽にお寄せください。  
地域創生課 ☎82-5220 Fax 82-2117

## 2年連続の好成績

### 只見町チームがベスト16!

9～10月にかけて、県内59市町村の頂点を目指す「第13回市町村対抗県軟式野球大会」が各地で開催され、只見町チームが昨年度に引き続きベスト16という素晴らしい成績を収めました。1・2回戦に見事勝利〔対金山町(17-4)、対磐梯町(1-0)〕した只見町チームは、10月5日の3回戦で小野町と対戦し、1-3で惜しくも敗れましたが、2年連続ベスト16という好成績を残した同チームの今後更なる活躍が期待されます。

※台風19号の影響により「第6回市町村対抗県ソフトボール大会」は中止となりました。



▲只見町チーム(軟式野球)の皆さん。本当にお疲れ様でした!(1回戦の会場「須賀川市牡丹台野球場」にて)

## 半世紀に渡る夫婦の絆

### しあわせ金婚夫婦表彰式



10月18日、福島民報社と福島県老人クラブ連合会が主催する「しあわせ夫婦金婚表彰式」が季の郷湯ら里で行われ、今年金婚を迎えられた(迎えられる)町内23組のご夫婦が表彰を受けました。

表彰式では、角田睦 町老人クラブ連合会長より表彰状が、菅家町長と福島民報社南会津支局の小池支局長より記念品などが手渡された後、金婚夫婦を代表し、田村幸男・ヒナ子さん夫妻(塩沢)が謝辞を述べられました。表彰を受けられた皆さん、本当におめでとうございます。



▲謝辞を述べる田村さん夫妻

## “食”や“命”の大切さを子供たちに伝えるために

### 「ふくしま食育実践サポーター講習会」を開催

10月18日、只見振興センターで「ふくしま食育実践サポーター講習会」が行われ、計23人の只見町食生活改善推進員が参加しました。講習会の開催は、実際に町内小学校で料理指導などを行っている町推進員への指導を通じ、食育の課題解決につなげることが主な目的です。当日は、ホテル華の湯(郡山市)料理長の齋藤正大氏を講師にお招きし、「麓山高原豚肩ロースの三五八漬け」などの調理実習を実施した後、「食事を通じ、命の大切さをいかに子供たちに伝えられるか」等をポイントに料理長から講話をいただきました。



▲齋藤料理長(左)の説明に耳を傾ける参加者の皆さん